

## 受験経験共有

亜細亜友之会外語学院

院進 A クラス：張初萌

私は大学院進学 A クラスの張初萌です。 2022 年 6 月に西安の大学を卒業した後、亜細亜友之会外語学院の先生方の辛抱強い熱心なサポートのおかげで、コロナの障害を乗り越えて亜細亜友之会外語学院に 2022 年 7 月生として入学することができました。そして 2023 年 11 月、早稲田大学大学院から合格通知を受け取りました。ここでは、受験に向けて全力疾走する受験生の参考になればと思い、私自身の受験について簡単にお話しさせていただきます。

学校の教材は知識が豊富で内容も非常に興味深いし、教育環境や設備も非常に充実していました。不定期ではありますが、日本文化に関わる様々な活動も行われました。そのおかげで私は短時間でトレーニングができ、日本語でのコミュニケーション能力が向上しました。まず語学の資格に挑戦しました。学校で学んだ知識と自分自身の努力で、N1 と TOEIC で満足のいく成績を取りました。

その後は基本的に専門科目を集中して勉強しました。外国という新しい環境の新鮮さに加え、私はもともと自分から進んで何かをやるタイプはなかったし、しかも怠け者でした。また、二回もコロナウイルスに感染し体調もよくありませんでした。学習目標もまだ明確ではなかったので、無意識のうちに気が緩んでいました。2023 年の夏期試験で、石川先生の励ましを受けて気持ちを立て直して学習計画を立て直しました。なんとかプレッシャーに耐え、大澤先生と岩崎先生の度重なる修正とご指導を受け、全力で研究計画書を完成させました。志望校 3 校に向け全力を出しました。勉強時間も努力も足りなかったことは知っていました。先生方の助けやサポートはありましたが、全部不合格という結果はかなりショックでした。反省しみたらそれは必然のような気がしました。

最後の不合格通知を受け取った後、両親や学校の先生にも結果を伝えました。先生と真剣に話し合ううちに、受験までに時間があまりないことに突然気づきました。2022 年前半ずっと頑張っていたのに、自分が何をしたいのか全く分からず混乱した状態に陥り、いつも自分に要求が少ない私が、突然不安を感じ始めました。連日不眠症に悩まされました。

反省の間、私は何度も自分自身に問いかきました。「なぜ一度の失敗でこんなに落ち込んでいるのか？」この状況を逆転させる方法はないのか？必ず良い結果を出そうと密かに心に決めました。まずは先輩方の成功体験を参考に、先輩にたくさんのこと들을きました。志望校選びについては大澤先生に相談しました。自分の研究の目的が明確でないこと、専門知識が足りないこと、専門書を十分に読んでいないことに気づきました。自分の欠点を知ったうえで学校の先生の指導を受けました。自分自身でより詳細な学習計画を立てました。自信を取り戻し、積極的に先生と新しい研究の方向性について話し合いました。自分の経験から非常に興味深く、そして調査しやすい課題を見つけました。そして、日々の努力は、合格の道へ強固な基盤を築いてくれました。またその努力が学校の先生方に認められ、「文部科学省外国人留学生学習奨励費」という奨学金をいただくことになりました。勉強へのモチベーションが高くな

りました。

2023年の冬、私は初めに夢の志望校である早稲田大学大学院に受験しました。大澤先生のもとで、書類をしっかりと準備して、修正を行い、無事に一次試験を通過することができました。希望も再燃しました。二次面接の準備をしていたとき、体の不調によりせつかく掴んだチャンスを逃してしまうのではないかと思いました。体調が良くなつた後、石川先生と申先生の励ましを受けながら、自分の学業に悔いを残したくない一心で歯を食いしばって、何度も復習を繰り返して二次面接の準備を続けました。面接台本やPPTを何度も修正し、慣れるまで先生に同行してもらい模擬面接を行いました。ある週は、連日朝4時、5時まで勉強し、静寂の中朝日を見つめながら、自分を元気づけました。塾の先生は午前4時になつても修正のアドバイスを送ってくれるので、簡単に諦めたらいけないと感じました。

ついに試験の日がやってきました。緊張しやすい私でしたが、十分な準備をしてきたので、指導教授に挨拶をすると同時に落ち着きました。笑顔で自分の研究テーマを紹介しました。先生からの最初の質問は、他の大学院を受験したかでした。また、私の研究テーマに関して新しいアイデアもいただくことができました。最善を尽くして面接を終えたので、帰り道でもしかしたら合格するかもしれないという予感がしました。

長い数日が過ぎ、息抜きに美術展に行こうと思っていたところ、合格通知が届きました。最初は信じられず、ボーッとしていました。家に帰って合格通知を受け取った後、ようやく安心して、すぐに学校の先生にこの喜びを伝えました。

時間があるからと言って怠けてはいけません。時間は二度と戻りません。これが今回の受験体験から、亜細亜友之会外語学院での留学で得た最大の悟りです。明確な目標を持ち、それを達成するために全力を尽くせば可能性はあります。たとえ挫折があっても決して諦めないでください。努力の末、チャンス得て成功します。一人で朝日を眺めていたあなたはきっと自分に感謝するでしょう。